

## 堅粕公民館にてポテトサラダ！

2月29日堅粕公民館の子育てサロンにお招き頂きました。今回の出し物は新作「非常時こそ食を大切に～在宅避難の食の話～」。ライフライン停止想定でアルミホイルご飯等6つのレシピを紹介しました。

参加者は、7家族15名とボランティアさん、博多区役所の方、他公民館の方の合計24名。



舞台上では料理上手なハルばあちゃんの指導の下、ウサギ兄妹がお手伝い。最後は参加者に超簡単ポテトサラダの調理&試食もして頂きました。「知らなかった」「おいしい」の感想を聞き、喜んだこぶた座一同でした。

(こぶた座 則松 淑子)



## トピックス ~これからの活動にご興味がある方は事務局までご連絡ください~

### \*リーダー会活動状況

リーダー会 HP からの活動依頼が数件ありました、依頼元は市外の自治会や企業ですが、HP の影響を強く感じています。

### \*各種講座の活動状況 (2月末現在の開催数)

新型コロナの感染状況が2類から5類へと変更になったことを受け、6月以降活動依頼が急増しています。

執筆時点で単独事業18件、地域活動アドバイザー25件、出前講座18件、防災工作教10件、その他(福岡市防災フェア、みんなで防災)2件、避難所運営サポートチーム1件合計74件に達しています。

### \*各部会活動状況

企画部会：3月20日の「みんなで防災」開催に向け、6回の会合で実施内容を詰めています。

### \*活動部会：なし

### \*広報部会：あん・あん通信作成

### \*研修部会：なし

(事務局長 正本 博士)

## 編集後記

各支部広報部員の皆様につきましては、編集にご協力をいただきありがとうございました。今回も無事発行に至ることができました。

今年は、年初から大きな災害が発生し、防災についての意識が高まっているところですが、各支部の方につきましても、地域の方からの要望等が増えていることと思いますので、広報部会に対して、情報発信等ご要望がありましたら各支部の広報部員を通じてお伝えください。

(広報部会長 本岡 俊徳)



博多あん通信

発行元：  
博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会  
代表幹事会長 因幡 那水

2024年(令和6年)

4月1日号

<No.43>

## 令和6年福岡市消防出初式

1月6日(土)にマリンメッセ福岡にて開催された福岡市消防出初式に出場しました。4年ぶりにコロナ禍前の規模で行われ、消防隊や消防団、防災活動に携わる団体など、およそ1500名が参加するなか、博多あん・あんリーダー会は総勢35名での分列行進を行いました。

式典のはじめに、能登半島地震の犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、参加者による黙禱が捧げられました。高島市長より「災害はいつ、どこでも発生する可能性があり、災害に備える自助、市民が助け合う共助、そして行政の公助の3つの力を集結して防災力を高めることが大切である。」との挨拶を受け、我々の活動においても更なる意識向上を図る必要があると切に思っております。

この度の出初式への出場は、会の一体感や団結力を高める機会となり、会員相互の繋がりを深めることができたと感じております。これからもリーダー会の基本理念である、「自助」と「共助」の大切さを、より多様な人々や地域に伝えていけるように一致団結して取り組んでいきたいと思っております。

(代表幹事会長 因幡 那水)



## 防災フェア「みんなで防災」

福岡県西方沖地震発生から19年が経過した令和6年3月20日、新天町サンドームにおいて福岡市、福岡管区気象台、福岡応急手当を広める会の方々と一緒に「みんなで防災」を開催しました。今回は、西方沖地震の被害写真などの展示を中心に、在宅避難というテーマをもって取り組みました。

元旦に発生した能登半島地震のこともあつてか、災害発生時にはトイレが大きな問題となると実感する方、ローリングストックや、ちょっとした工夫で出来ること(備え)があるのかと感心する方、心肺蘇生・AEDをはじめ体験したと喜ばれる方、参加された方々は各々気づきがあったようです。

今回、企画部会で何度も話し合いを行いました。当日スタッフのご協力のお陰もあり、よい防災啓発イベントが出来たと感謝しています。ありがとうございました。

来年は西方沖地震発生から節目の20年です。さらに多くの方々へ災害への備えの大切さを伝える防災イベントが出来たらな～と妄想しています。

(企画部長 牧菌 典浩)



## 中央区市民総合防災訓練 in 簀子～中央支部～

3月2日(土)りすのこスクエア(旧簀子小)において、地震発生を想定して中央区市民総合防災訓練が簀子地区以外からの参加者も含めて行われました。訓練は全体を3グループに分け、避難所設営訓練、非常持ち出し品展示、りすのこスクエア施設見学を行い、中央支部は非常持ち出し品展示と解説、クロスロードゲームを担当しました。

マンションが多い地区での共助の構築についても関心が高く、もっといろいろな内容の防災についての学習会に参加して、知識を深めることが「イザっ!というときに備えることができる」と訓練や学習会の意義が十分に伝わる総合訓練でした。



(中央支部 坂井 正司)

## 防災食作成～城南支部～

1月20日(土)田島公民館にて、高密度ポリエチレン袋を利用した料理の研修会を行いました。ポリ袋料理は災害時でも簡単に調理でき、洗い物も少ないメリットがあります。本研修会では、蒸しパン3種類とご飯を調理しました。

調理中には、災害時に如何に材料を量るかの議論が行われました。ペットボトルのキャップ2杯分がおよそ大匙1に相当する等の知識や、料理は新聞の広告等で作製した容器やアルミホイルに盛り付けることで洗い物を削減できること等知っておくと役立つ可能性があります。

また、今回調理した蒸しパンは美味でもあるため、日常の軽食・おやつとして、家族共同で調理するなど慣れ親しんでおくことも大切だと感じました。



(城南支部 戸高 昌俊)

## 非常持ち出し品ゲーム～早良支部～

1月21日(日)に西新校区で参加者約40名に非常持ち出し品ゲームと紙芝居を行いました。2月3日(土)には室見校区にて親子20名に親子防災教室(クロスロード、防災〇×クイズ、紙芝居、非常持ち出し品ゲーム)を行い、また2月17日には早良消防署にて12名の女性消防団員の方を対象にHUGを実施しました。元旦の能登半島地震の影響もあってか、いずれの講座も皆さん熱心に取り組んでいただけたことが印象的でした。

今期は新たに19期生5名の入会があり、支部活動も益々活発になって参りました。今後の講座等にも是非積極的にご参加いただき、一緒に勉強していきましょう。



(早良支部 松本 一郎)

## HUG～西支部～

2月4日(日)10時より周船寺公民館講堂においてHUGを実施しました。西支部でのHUGは久しぶりの実施であり、支部会員の方たちも戸惑いが見られましたが、新人会員を含め10名のファシリテーターで行いました。約60名の参加者はHUGの経験者がほとんどいない状態で、要援護者、疾病のある避難者、両親を失った幼児などのカードが出ると避難者の収容先に困る様子が見られ、またトイレに関する問題のカードでは具体的な検討ができないままの班もありました。トイレ問題は平時に考えることが無いので、発災時に準備が間に合わない可能性を指摘できました。



(西支部 正本 博士)

## 能登半島地震の被災地支援について～東支部～

8年前の熊本地震から、東支部では本格的に大災害時の復旧と復興支援を九州地方にて取り組んで参りました。今回の能登地方は距離的に余りにも遠く、情報入手の手段や地の利もありませんので、支援物資を調達し現地にお届けすることと、直接支援金をお届けして、被災された方への心の支えとなる応援を継続したいと考えています。

八田・西戸崎・香住ヶ丘・和白・香椎・美和台校区から、1月25日時点で73個口の支援物資を、羽咋市の社会福祉法人 弘和会さんを通じ各避難所へお届けいただいておりますが、復旧復興への時間的長期化に伴い、支援物資の内容は時間とともに変化します。東支部は会員の校区自治協等の協力を得て、現地の中間支援団体を通じて要望を伺い、時機的に適切な物資をお届けしようとしています。

現在要望されている支援物資は、飲料水、食品(肉類のレトルト・缶詰)、果物の缶詰、野菜、トイレット・ティッシュペーパー、マッチ、ロウソク、赤ちゃん用除菌シート、女性用生理用品、ホッカイロ、ゴミ袋、携帯トイレ(凝固剤・消臭剤・処理用ゴミ袋入り)、赤ちゃん用・大人用紙おむつ等です。物資の配送に1個2,000円程必要ですので、支援金のご寄付もお願い出来れば幸甚に存じます。

(東支部 城下 邦芳)

## 市民総合防災訓練(東吉塚小学校)～博多支部～

11月26日に東吉塚小学校で開催された福岡市市民総合防災訓練(博多区会場)に参加し、「避難所レイアウトの展示説明」と「ダンボールベッドの作成」を行いました。

避難所レイアウトでは、参加された住民の方々から「一人当たりの必要スペースが意外と広い」や「車椅子が通るような広い通路を作らないといけないという考えはなかった」などといった声が聞こえました。

ダンボールベッドの作成では、家族連れも楽しみながら実施をする中で、「同じ大きさがなかったらどうするのか」「数は足りるのだろうか」などの疑問が次々に出て、体験型の訓練を通すことにより防災の入口のハードルが低くなるのだろうと感じました。初めは遊び感覚で実施している子どもたちも、「こういった場合はどうする?」と疑問を投げかけることによって、真剣に話し合っって答えを探そうとしていました。正解はない問いですが、興味を持って自らが話をしていくことで、地域の防災力の向上に繋がっていくと感じました。



(博多支部 本岡 俊徳)

## 防災講和とHUG～南支部～

令和5年12月15日・19日の2日間、南区役所内にある「南区市民サービス向上委員会」の取り組みの一環で、職場の危機管理対応力の向上を目的に、各課から参加の100名の職員さんを対象に防災講話とHUGを実施しました。

防災講話では、被災地におけるトイレや水の問題を解説、熊本地震で避難所に入った経験等を紹介しました。「経験者にリアルな話を聞くことで為になった」、「良い意味で危機感を持った」という感想が寄せられました。HUGでは同じ職場のメンバーということもありスムーズに進み、「準備しておくことの大切さを知ることができた」「配慮した方が良い事例が具体的に分かった」など、今後に繋がる意見が寄せられました。防災力アップに微力ながらお手伝いできた企画であったと自負しています。



(南支部 入江 修)